

セールスタッフに聞く 新型XC40の注目ポイント

人気のボディカラーは？

「クリスタルホワイトパール」が一番人気です。カジュアルさとファッションとの相性のよさや、どんなシチュエーションにも似合うというところで支持を得ているのではないかと思います。そして「オニキスブラックメタリック」「プライトシルバーメタリック」と続きます。

試乗時のチェックポイントは？

クルマの特性をより活かすという意味も含めて、高速道路での試乗をオススメします。高速走行時の滑らかな乗り心地や全車速追従機能付ACCといった技術の精度の高さを実感していただけると良いでしょう。また、T4とT5の各グレードの乗り比べも高速道路で行うのがいいでしょう。動力性能の違いを体感していただけです。

アフターケアは？

新車3年無償保証（走行距離無制限）を付帯。さらに、ボルボ・ディーラーで3年間、2回の定期点検整備が利用できる「ボルボ・サービス・パスポート（無償）」や、同サービスが終了した後2年間をサポートする「ボルボ・サービス・パスポート・プラス（有償）」も用意しています。



ショールーム内には、試乗車を兼ねるXC40のほかV60やXC60、S40など計6台を展示。展示車のラゲッジスペースを利用して、若手スタッフがテーマを決めた活用法の提案も行われている。取材時は「災害支援キット」がテーマ。



ガラス張りのおしゃれな個室スペースは、リビングルームそばに設置されている。



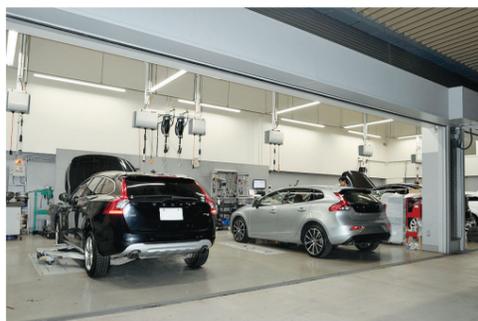
“家族のくつろぎの場”を表現した「リビングルーム」を用意。その隣にはキッズルームを併設。モニターや雑誌なども用意されており、“ボルボのある生活”を想像するには最適な空間となっている。



お客様スペースの横にはカウンターを設置。スウェーデンのカフェ文化「FIKA（フィーカ）」を楽しむことができる。



取材に応じていただいた田中大輔支店長。「とにかくボルボを知っていただきたいですね。そして、ボルボ車の魅力を肌で感じていただきたい。最終的には、街中にボルボ車がたくさん走っているという、そんな風景を実現したいと考えております」



広々としたピットは4台収納可能。リフトは4機配備され、メカニック3名により点検・整備などが行われる。横はガラスドアになっており、作業の進捗状況を店内から眺めることもできる。



ボディパネルやシート生地などの色見本を展示。そのすぐそばには、商談テーブルが用意されている。



試乗希望者の要望にすぐ応えられるようにと、店舗入り口横に設置された「デリバリールーム」にXC40は展示されていた。なお、デリバリールームは、新車納車時のセレモニーにも使用される、いわば特別な空間。



SHOP INFORMATION
ボルボ・カー柏の葉
〒277-0814 千葉県柏市正連寺398番地7中央134街区5
☎0120-60-8857 <https://kashiwanoha.volvo-tohoauto.com>
営業時間：10:00～18:30
定休日：水曜日

インを踏襲した自然と調和するフォルムは変わらず。その個性をベースに、進化した新型車で実際に走ってもらい日本の道路事情との融和性、そして高速域での走行性能を体感してもらおうというのが、同ディーラーの接客スタイルでもある。

取材時、XC40の試乗車は1台。「たかさんのお客様にご試乗していただきたいのですが、台数も限られます。また人気モデルのため試乗枠がすぐにいっぱいになってしまっているのが現状です。ですので、試乗をご希望の方は、ご予約を取っていただくようご案内しております（田中支店長）」というように、XC40は、同ディーラーでもやはり人気の的。

巷間言われているように納車まで約1年の期間を要すること。その間のフォローとして「ブリジジS MAVO」のプランも用意されているので、納車待ちの間はそちらを検討してみるのもいいだろう。

もっとも、まずはXC40へ試乗し、まだ知らないそのモデルの様々な魅力をプロ（ディーラー）から引き出し、XC40ライフをイメージしワクワクしてみるのはいかがだろうか。

街に寄り添い、街とともに成長する自然体ディーラー ボルボのアイデンティティと 新しい街との共存を表現

In the show room
ボルボ正規ディーラー訪問記

PHOTO◎渡部竜征 (Watabe Ryuusei)

2017年4月、移転と同時にリニューアルオープンした「ボルボ・カー柏の葉」。テーマ性を持ち開発された千葉・柏の葉スマートシティの一角に店舗を構えており、街の文化とボルボの個性をマッチングさせているのが特徴。街に住む方も気軽に訪れることができる、雰囲気作りがなされている。

散歩中の方がふと来店する オープンな佇まいも魅力

「三井不動産が開発する。柏の葉スマートシティにマッチするショールームのモデルとして店舗設計・運営を行っています。テレビなどのメディアからも多くの取材を受けましたよ」というのは、取材に対応していただいた柏の葉支店・支店長の田中大輔さん。

柏の葉スマートシティは、環境共生都市、新産業創造都市、健康長寿都市の3テーマを掲げ、世界の未来像、という名の「新しい街づくり」を目的としている。

ボルボ・カー柏の葉は、移転リニューアルオープンするにあたって、この街のテーマに沿いながらもボルボのアイデンティティを主張しつつ、街とディーラーが共存する術を提案しているのも特徴のひとつである。

店舗内に並べられる展示車の配置は、北欧の道路をイメージしたという。さらに、北欧の家具を散りばめることで、スウェーデンの雰囲気を出し出す。と同時に、店舗入り口からまっすぐ目に入る場所には大きな、柏の葉を模したパネルを飾ること。この街とともに歩む、ディーラーとしての主張がなされているというわけだ。

「地域貢献」という理念のもと、この街にたくさんのボルボ車を走らせたいというのが目標です。安全なクルマを走らせることで交通事故を減らしていく。それが、当ディーラーの地域貢献のひとつでもあるからです」と田中支店長はいう。

移転前、店舗を訪れるお客さん層は年配の方が多かったが、移転後は幅も広がり、地域柄もあつてか30代前半の夫婦や子供連れのお客さんの姿も多く見かけるようになる。

良さを体感してもらったための オススメメニューは高速道路

国道16号線沿い、常磐自動車道柏インターチェンジすぐそばに立地する、ボルボ・カー柏の葉。高速道路へのアクセスがよいという立地条件を活かしている。

「XC40は展示ルームではなく、デリバリールームに配置しています。これは、試乗希望の際、すぐクルマを出せるようにするためです。そして、試乗コースは、高速道路の走行をご案内しております。当店は柏ICがすぐそばにありますので、動力性能や走行安定性を知っていただくには、高速走行はうってつけだからです」と田中支店長。

LEDディスプレイ・ランニング・ライトやオートブレーキ付CTAといったサポート機能を全車標準装備するなど、ボルボらしく安全機能は充実しており、さらに伝統的なデザ